

キャッシュカードを入れた封筒 をすり替える手口急増！

高齢者の自宅を訪ねて、封筒にキャッシュカードを入れさせ、隙を見て別の封筒とすり替える手口が急増しています。

すり替えて盗む手口

- ①電話でカードが偽造されている可能性がある。警察官や金融庁の職員を向かわせる等と言う
- ②カードを止めるので、暗証番号のメモと一緒に封筒に入れて
- ③封筒に割り印をするので印鑑を持ってきて
- ④被害者が離れた際にすり替えて、偽物のカードが入った封筒を渡す
- ⑤「3日間保管するように」等と被害者に伝え立ち去る
- ⑥盗んだカードで現金を引き出す



兵庫県 別の封筒にすり替える手口の認知件数

	平成30年4月末	平成31年4月末
認知件数	8件	32件
被害額	¥7,845,000	¥56,063,000

認知件数4倍
被害額7倍

「私は大丈夫」が一番危ない！！

犯人にだまされないためのポイント

- ・ 電話で「暗証番号を教えて」「現金・カード、通帳を預かる」と言われたら詐欺です。
絶対に渡してはいけません。
- ・ 公的機関を名のつても、話は鵜呑みにせず、お金の話が出れば一旦電話を切って事実確認をする。
- ・ 身に覚えのない電話があった時は、
一人で判断せずに、家族や友人、警察に必ず相談する。

